

職業能力基準（レベル区分）

レベル区分	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
施設 運営・統括	〈初級スタッフ〉	〈中級スタッフ〉	〈上級スタッフ〉	〈統括責任者〉
	実務担当者として、上司の指示・助言を受けながら、担当する基本的な実務を、確実に遂行する	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模チームの中心メンバーとして、創意工夫を凝らし、自主的な判断、改善、提案を行いながら、業務を遂行する ・小規模チームのリーダーとして、管理者を補佐し、サービスの品質管理、スタッフの指導、業務の企画・立案、業務改善等を行う 	小規模単一サービスの管理者、または中規模のチームの責任者として、上位方針を踏まえて、管理運営、計画作成、業務遂行、問題解決等を行い、法人利益を創出する業務を遂行する	管理統括者、複数事業所の責任者、または、大規模のチームの責任者として、施設の運営方針を定め、広範かつ統合的な判断および意思決定を行い、法人利益を先導しよりよい組織風土を創造する施設統括をする
施設介護 サービス	〈初級スタッフ〉	〈中級スタッフ〉	〈上級スタッフ〉	〈スーパーバイザー〉
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎的な実務知識、技能を有し、比較的難易度の高くないケースを担当する ・ 決められた内容のサービスを、決められた手順で実施する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎的な実務知識、技能を応用し、比較的難易度の高いケースにも対応する ・ 決められた内容のサービスを、手際よく効率的に実施する ・ 利用者のニーズや、状況の変化に即して的確なサービスを実施する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幅広い実務知識と経験を有し、複雑で難易度が極めて高いケースにも対応する ・ 他者の模範となり、新人や後輩を指導する ・ クレーム、トラブルなど突発・緊急事態にも適切に対応する ・ 緊急時の対応を適切に行う 	スタッフの教育・指導専門職として、スーパーバイズによるスキル指導やOJT、研修講師、カウンセリング等を行う
相談・援助	〈初級スタッフ〉	〈中級スタッフ〉	〈上級スタッフ〉	〈スーパーバイザー〉
	基礎的な実務知識、技能を有し、上司の指導・助言のもと、利用者・家族に対する相談援助サービスや、関係機関との連絡調整等を担当する	基礎的な実務知識を個別ケースに応用し、利用者・家族に対する相談・援助サービスの提供や、関係機関との連絡調整等を適切に遂行する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幅広い実務知識と経験を有し、複雑で難易度が極めて高いケースにも対応する ・ 他者の模範となり、新人や後輩を指導する ・ クレーム、トラブルなど突発・緊急事態にも適切に対応する ・ 緊急時の対応を適切に行う 	スタッフの教育・指導専門職として、スーパーバイズによるスキル指導やOJT、研修講師、カウンセリング等を行う

(注)上表はそれぞれの職種における能力の発展段階を4段階で示したものであり、たとえ同一レベルに位置づけられている場合であっても、施設内での職位や職責、賃金処遇等は同一とは限らない。(例:統括責任者とスーパーバイザーはいずれも「レベル4」に位置づけられているが、施設内での職位や職責、賃金処遇等は必ずしも同一ではない。)